



# DEOS協会 概要

## 名称・略称

一般社団法人 ディペンダビリティ技術推進協会

略称: DEOS協会

## 役員

理事長 所眞理雄(株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所)  
理事 松田晃一(独立行政法人 情報処理推進機構)  
理事 山浦一郎(富士ゼロックス株式会社)  
理事 屋代眞  
理事 竹岡尚三(株式会社アックス)  
理事 平鍋健児(株式会社チェンジビジョン)  
理事 中川雅通(パナソニック株式会社)  
理事 坂田洋幸(株式会社エヌ・ティ・ティ・データ)  
監事 佐々木栄美子

## 目的

DEOSプロジェクトの成果を産業界でご利用頂く  
産業界や社会の要請に応じて成果をさらに発展させる  
企業が開発・運用するシステムのディペンダビリティ向上に寄与する  
ディペンダビリティ技術を扱える人材を育成する  
豊かで安全・安心・快適なICT社会の実現を目指す

## 事業内容

ディペンダビリティ技術の研究開発を促進するための事業  
ディペンダビリティ技術の普及・啓発のための事業(教育資料の販売、認証などを含む)  
ディペンダビリティ技術にかかわる事業の創生・発展を支援するための事業  
前各号に附帯又は関連する一切の事業

会員種別	会員数
正会員(企業)	25社
学会会員	16名
賛助会員	4団体

2016年3月現在



# 主な活動

## ディペンダビリティ技術の実用化・普及

### 論証・合意形成等の技術

- D-Case部会（ゴール思考の表記を用い、合意議論を深め経緯の記録に有用な技術）
  - 仕様策定・研究会（最新動向・事例紹介・意見交換等）開催
  - 2016年度よりワークショップ開催予定
- 技術部会（合意記述の為のデータベース、履歴・整合性・共有等に有効な技術）
  - 利用可能なD-ADD実装製品の紹介
  - ユースケースを意識した実装製品への改良検討
  - 2016年度よりD-ADD技術定義の再構築及び標準化

### 普及活動

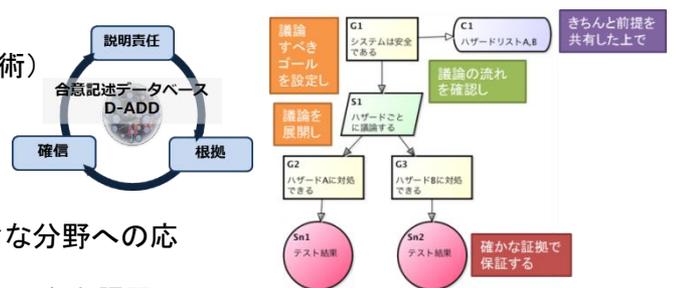
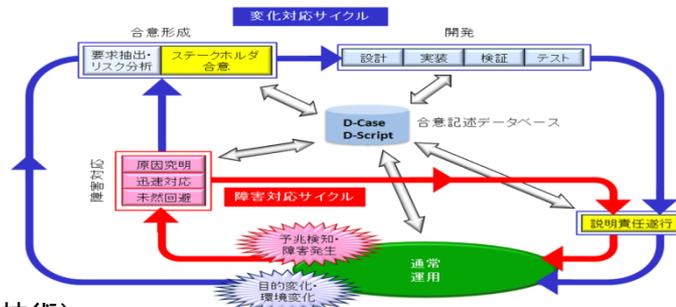
- OSD部会（DEOSが推進するオープンシステムディペンダビリティ(OSD)の様々な分野への応用可能性の調査・検討活動を実施）
  - 過去の検討テーマ：「車載組込み開発の状況」、「プラント構築・管理企業の取り組む課題」、「家電・ロボットの信頼性、安全・安心について」、など

### 国際標準化

- 標準化部会（国際標準化を推進する）
- IEC 62853 Open Systems Dependability
  - IEC TC56 WG4として、DEOS協会標準化部会のメンバーが中心に日本主導で検討
  - 2016年の刊行を目指す

### 認証

- 認証部会（DEOS基準を満たすツール、システム、教科書、研修プログラムなどを認証する）
- D-Case認証
  - D-Caseに有用な、教育・ツール等の基準を制定及び審査し認証を行う
  - 2016年3月現在 認定2件、申請中1件
- D-ADD認証
  - 2016年度中の申請開始に向け、基準作成中



レファレンス実装			
価値の成文化			
	標準	内容	DEOS成果
ディペンダビリティ要件標準	IEC62853 IEC60300-1	OSDを持つライフサイクル	DEOSプロセス
	ISO/IEC15026 IEC62741	ライフサイクルが備えるOSDのアシュランス	D-Case手法
	OMG Spec SACM	電子化アシュランスケース	D-Case editor
ツール標準	OMG RFI MACL	機械的に検査可能なアシュランスケース記述言語	D-Case in Agda
		OSDを持つライフサイクル遂行の技術的支援	DEOS Arch. D-Script, D-ADD, D-RE, D-Bench, ...





# まとめ

- DEOSの利用が、ISO26262、自動運転、医療機器、IoTなどの応用分野を得て、D-Caseのみならず、D-ADDを用いたプロセスの適応へと進んでいる。
- DEOS協会を通して普及・発展を推進し、将来の社会設計の基本概念・基盤技術として世界に貢献する。
- Open Systems Dependability 2<sup>nd</sup> EditionがCRC Pressより刊行。

DEOS協会

<http://deos.or.jp>

